

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和4年2月21日

事業所名: 原田学園 ことばの支援センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				支援に使用するスペースや職員の配置は、おおむね満足いただいているようです。 今年度は、コロナ感染予防策として、集団療育の人員配置を工夫いたしました。心理職員につきましても、検討してまいります。 バリアフリー化など、一朝一夕に解決できない課題もありますが、利用者様に安心安全に過ごしていただける環境の整備を今後も持続的に検討してまいります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			事業所の外部評価につきまして、当事業所は外部に委託しての第三者評価は行っておりません。 ただし、支援形態が母子通所であることや、学校法人であることから専門学校の教員や実習生が訪れることも多く、様々な方からのご意見をいただきやすい環境にあります。 今後も、利用者様からのご意見が届きやすい風通しのよい事業所運営に努め、いただいたご意見を業務改善につなげてまいります。 また、研修の機会を増やし、自己研鑽に努めてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				多くの利用者様に通所いただいていることもあり、個別支援計画の策定や、職員間での情報共有に関して、会議に十分に時間があてられない現状がありました。そのため、今年度より十分な時間がとれるよう、業務のあり方を見直しております。今後、よりいっそうチームで支援に臨むためにも、基本的な業務のあり方、優先順位のつけ方を見直し、より充実した個別支援計画書の策定や職員間での情報共有に努めてまいります。 また、お子様への支援内容に関しまして、ご意見をいただきました。職員の技術や知識を高めるよう努力するとともに、支援内容やその目標について保護者様に的確にお伝えできるよう努めてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				関係機関との連携に関して、連携が必要な場合すぐに会議や書面等で対応できるように今後も準備しておきます。 今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で顔と顔を合わせた連携が難しい面がありました。この状況が当面続く可能性があることを考慮し、書面、電話、オンライン等でも十分に連携がとれるよう準備を整えておきます。 また、保護者様への助言やご相談の対応など充実させられるよう、知識・技術の向上に努めてまいります。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			
保護者への説明責任等	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				お子様の情報共有や保護者様の気がかり事への対応などへの肯定的なご意見をいただきました。これからもすべての利用者様に丁寧な説明が行き届くように努めてまいります。 また、事業所内の掲示板、ホームページやInstagramにて活動報告も行ってまいります。不定期ではございますが、ぜひご覧ください。 また、保護者会や地域との交流を望まれている方もいらっしゃるようです。現在、感染症の影響により難しい状況ですが、今後どのような形で実現できるかを検討してまいります。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○					
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				緊急時対応や感染症対応等のマニュアルの策定に関して、利用者様への十分な説明ができていないことがありました。事業所内に掲示しておりますので、定期的にお目通しください。 また、避難訓練に関して、利用者様参加型の訓練は現在実施しておりません。災害にご不安を感じておられる利用者様もいらっしゃるため、今後、実施に向けて検討を行ってまいります。 また、職員の訓練も不十分な点がございまして、すべての職員が訓練に参加できる機会を設けてまいります。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)